

# 箕面市の中学3年生の英語力 英検3級相当以上の割合が 74.9% !

～全国平均47.0%を大きく上回る結果となりました～

令和4年(2022年)5月26日(木)

箕面市では、平成29年度より毎年、市立中学校3年生を対象に、英検IBA※を実施しています。令和3年度は、英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合が74.9%という非常に良好な結果となりました。この結果は、5月18日に文部科学省が公表した「英語教育実施状況調査」における全国平均(47.0%)を大きく上回り、他の自治体と比較しても突出しており、都道府県・政令指定都市別でみると、箕面市(74.9%)は、さいたま市(86.3%)、福井県(85.8%)に次いで3番目に高い結果となっています。

箕面市では、全市立小中学校の全学年で、毎日英語の授業を実施しています。また、全校に外国語指導助手(ALT)を配置し、子どもたちがネイティブスピーカーと気軽に英語で話せる環境を整えており、このような取り組みの成果が表れた結果となりました。今年度もALT76名体制で、更なる英語力の向上をめざします。

※ 日本英語検定協会が実施している、英語能力を判定することができるテストです。

## 1. 「英検 IBA」の結果について

箕面市では、平成29年度より毎年、市立中学校3年生を対象に、英検IBAを実施しています。令和3年度は、英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合が74.9%という、非常に良好な結果となりました。

この結果は、5月18日に文部科学省が公表した「英語教育実施状況調査」における全国平均(47.0%)を大きく上回り、大阪府平均(47.4%)、も超え、他の自治体と比較しても突出しており、都道府県・政令指定都市別でみると、箕面市(74.9%)は、さいたま市(86.3%)、福井県(85.8%)に次いで3番目に高い結果となっています。

箕面市では、平成27年度から全市立小中学校の全学年で、毎日英語の授業を実施しています。また、全校にALTを配置し、子どもたちがネイティブスピーカーと気軽に英語で話せる環境を整えており、このような取り組みの成果が表れた結果となりました。



## 2. 英語教育の取り組みについて

### (1) 市立小中学校の全学年で毎日英語の授業を実施

市立小学校の6学年では週1回の45分授業と週4回の15分学習、市立中学校では週4回の英語科の授業と週1回の英語コミュニケーション科の授業を行い、全9学年で毎日英語の学習を行っています。

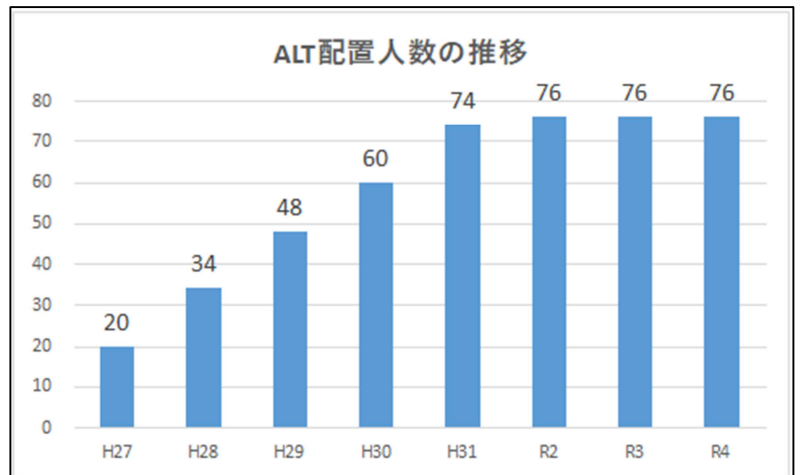
平成29年度からは、就学前英語教育も開始し、公立の保育所と幼稚園へ月2回程度の頻度でALTを派遣しています。また、私立の保育園と幼稚園についても、希望があれば同じく月2回程度派遣しています。

## (2) 外国語指導助手(ALT)を独自に配置

現在、箕面市には76人のALTが勤務しています。市内の各中学校には3名～4名、小学校には3名～5名のALTを配置しています。特に小学校の授業では、1クラスを3～4グループの少人数に分け、各グループにALTを1人ずつ配置することで、子ども一人ひとりがALTと1対1でやりとりできる機会を確保しています。

中学校では、子どもたちが学んだ英語を使える機会をより多く持てるよう、英語コミュニケーション科の授業だけでなく、英語科の授業にも積極的にALTが参加しています。

また、授業以外でも、子どもたちと一緒に給食を食べたり、掃除をしたりするなど、学校生活の中で子どもたちと英語でコミュニケーションをとっています。

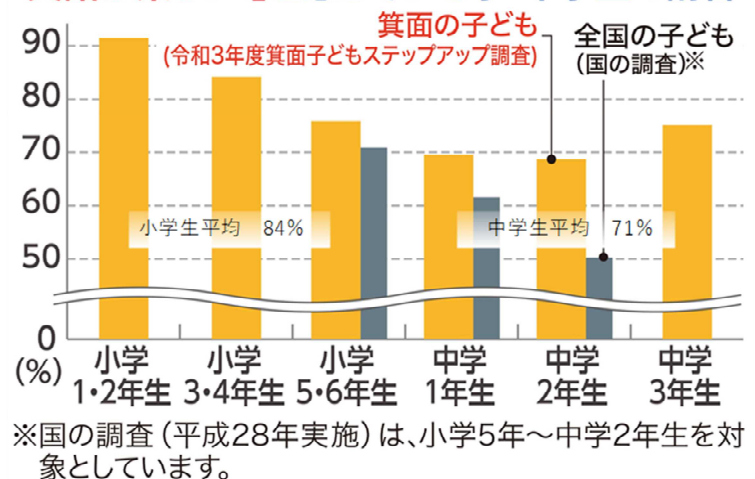


## 3. 中学生の7割以上が「英語が楽しい!」と感じています

「英語は楽しいですか?」という質問に対して、箕面市の中学生は7割以上、小学生は8割以上が楽しいと回答し、ALTとの触れ合いなどを通じて、多くの子どもが「英語が楽しい!」と感じていることが分かりました。

英語が楽しいと感じている割合は、全国よりも高く、今後もより多くの子どもが、英語に触れることが「楽しい!」「大好き!」と感じられるような取り組みを進めます。

### 「英語が楽しい!」と感じている小・中学生の割合



問い合わせ先  
子ども未来創造局 学校教育室  
電話：072-724-6761